

出張授業で友好深め

在日ドイツ公使 欧州の実情紹介

横浜女学院

欧州連合（EU）創設後の欧州の実情などを知ってもらおうと、在日ドイツ大使館のアンナ・プリンツ公使が5月7日、横浜市中区山手町の私立横浜女学院で「出張授業」を開いた。九日のEU創設記念日に合わせて加盟国の大使らが全国の学校を訪問する「EUがあなたの学校にやってくる」事業の一環。プリンツ公使は、聴講した同校の中高生約千人に「言葉の壁を乗り越えて諸外国と友好を深めてほしい」と呼び掛けた。

同公使は、現在27カ国が加盟しているEUを「（過去に）敵対していた国々が密接な友好国になった」と紹介。パスポートを使わずに加盟国間を行き来できることや、統一通貨「ユーロ」導入による経済効果などを、通訳を介してドイツ語で伝えた。

また、20年前の「ベルリンの壁崩壊」について「自由を求める人たちが平和的に壁を崩した。勇気と教育力で国の危機を乗り越えた」と説明。生徒たちに、教育や夢を持つことの重要性を訴えた。

研修留学などを通じて生徒の国際感覚を高めることを目指す同校は「生徒が欧州の価値観に触れるいい機会になった」と話した。

（香川 直辞）



プリンツ公使が欧州の歴史や文化を紹介した「出張授業」＝中区の私立横浜女学院